

CASBEE[®] 新築[簡易版]

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-新築(簡易版) 2008年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-NCb_2008(v.3.2)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	長岡第七小学校 校舎	階数	地上3F
建設地	京都府長岡京市	構造	RC造
用途地域	一種住専一部準住居地域・準防火	平均居住人員	480 人
気候区分	地域区分IV	年間使用時間	2,400 時間/年
建物用途	学校	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2011年7月 予定	評価の実施日	2010年1月21日
敷地面積	15,043 m ²	作成者	都市環境設計 杉浦
建築面積	2,177 m ²	確認日	2010年1月21日
延床面積	4,647 m ²	確認者	〇〇〇



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.3

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 大項目の評価(レーダーチャート)

2-3 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質

Q1 室内環境 Q1のスコア= 3.1

Q2 サービス性能 Q2のスコア= 3.2

Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア= 3.1

LR 環境負荷低減性

LR1 エネルギー LR1のスコア= 3.6

LR2 資源・マテリアル LR2のスコア= 3.4

LR3 敷地外環境 LR3のスコア= 3.0

3 設計上の配慮事項		その他
総合	耐震性の確保 快適な環境の実現 省エネルギー エコスクール	注) 上記の6つのカテゴリー以外に、建設工事における廃棄物削減・リサイクル、歴史的建造物の保存など、建物自体の環境性能としてCASBEEで評価し難い環境配慮の取組みがあれば、ここに記載してください。
Q1 室内環境	小学校の室内環境について、平均的なものとしている。また、昼光利用に配慮している。	Q2 サービス性能 心理性・快適性に配慮し、多目的スペースを吹抜けとし、共用のリフレッシュスペースとして、広がりのある空間としている。また、耐震性に配慮している。
LR1 エネルギー	建物の熱負荷抑制に配慮している。自然エネルギーの利用に配慮している。	Q3 室外環境(敷地内) 敷地内の温熱環境の向上に配慮している。
		LR3 敷地外環境 雨水排水負荷低減に配慮している。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される
 ■LCCO₂の算定条件等については、「LCCO₂算定条件シート」を参照されたい